

北イタリア安全対策情報（2023年7月～9月）

1 治安情勢

当地では、依然として邦人の窃盗被害が多く発生しています。

7月から9月の間に多かった被害例は、見知らぬ者が声をかけてきた際にバッグなどのファスナーが開封され財布などが盗まれる手口です。被害場所はミラノ市内(特に地下鉄や駅)とベネチア(水上バスなどの人が集まる場所)が多くなっています。

また今年、5月にエミリア＝ロマーニャ州を中心に洪水被害が発生、7月にミラノ市で悪天候による倒木や道路の冠水に伴う各交通機関への影響、さらに9月にはフィレンツェ州とエミリア＝ロマーニャ州で規模マグニチュード4.9の地震が発生するなどの自然災害が続いています。

自然災害に対しては、可能な限り事前の情報収集や水や食料等の準備などの対策が重要です。

2 日本人被害（件数は当館に届け出のあったもののみを計上）

以下は犯罪被害の事例をまとめたものです。

- (1) 車上狙い：2件（参考：4月から6月は1件）

被害例：路上に車を駐車して搬送作業中、助手席に置いた手荷物を盗まれた。

- (2) 置き引き：8件（同：7件）

被害例：電車の荷物置きにスーツケースを置いていたが、降車する際に無くなっていた。

- (3) スリ：12件（同：11件）

被害例：ミラノ中央駅にてエスカレーターが突然停止し、背後の妊婦の女性ら2人を不審に思いリュックサックをチェックすると、ファスナーが開けられて財布等が盗まれていた。

3 殺人・強盗・誘拐等凶悪犯罪例

日本人以外の被害が発生した事件の一例を以下のとおりです。

- (1) 8月上旬、ミラノ市のサン・レオナルド地区において、未成人を含むモロッコ人の集団がエジプト人2人に銃などを突きつけ、金銭等を強奪したとして逮捕された。

- (2) 9月上旬、ミラノ市マンゾーニ通りにおいて、未成年を含む北アフリカ出身の3人がF1ドライバーが着用していた高級腕時計を強奪したとして逮捕された。

- (3) 9月下旬、ミラノ市ナビリオにおいて、チュニジア人（28歳）がイタリア人（23歳）を襲って殺害したとして逮捕された。

4 テロ・爆弾事件発生状況、対日感情の変化、日本企業の安全に関する諸問題

9月24日、ボローニャに居住していたチュニジア系イタリア人（24歳）は、オンライン上の過激なメッセージやコンテンツによってイスラム過激主義に傾倒し、ジハードに参加するためシリアに出発する直前に逮捕された。

5 対日感情の変化及び本企業の安全に関する諸問題

特になし